

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (沖縄)	◎	－	－	－
	○	百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・3か月前に比べると食品でお中元ギフトの動きがありやや良いが、前年に比べるとマイナス20%台と厳しい状況は変わらない。当地では8月中は緊急事態宣言が発表されているが、4月とは違い、経済活動と新型コロナウイルス対策の共存がみられるようになっている。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・3か月前と比べて来客数が増えている。
	○	乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・新型車や高価格帯ブランドの受注が好調である。
	□	スーパー（企画担当）	単価の動き	・前年は8月に旧盆の時期があったため、比較すると売上高は減少するも、巣籠り需要で買上点数が増えて客単価が大きく伸長している。
	▲	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・7月後半から8月に掛けて、新型コロナウイルス感染者の数が急増したこともあり、目抜き通りやその周辺は来客数が激減している。当店も8月2日から営業自粛に入り、売上は例年の3分の1にまで落ち込んでいる。
	▲	観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・沖縄県内の新型コロナウイルス感染症の流行による県独自の緊急事態宣言発出に伴う観光客数の激減が影響し、前年同月実績を大幅に下回る客室稼働率である。3か月前より前年比のマイナス幅が大きくなっている。
	▲	住宅販売会社（代表取締役）	お客様の様子	・建築請負契約を行ったにもかかわらず、新型コロナウイルスの影響で仕事の先行きが見通せないとの理由で契約解除の事例が出ている。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・今、来客数は新型コロナウイルスの影響により、飲食店、物販全体が悪い状況に陥っている。新型コロナウイルスが終息しない限り、この状況が続くのではないかと大変危惧される。
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・Go To Travelキャンペーン開始の連休4日間のみ客数が増加し、それに伴う新型コロナウイルス感染者の爆発の第2波により客足が途絶え、Go To Travelキャンペーン開始前よりも売上、客数とも減少している状況で、先行き不透明である。
	×	コンビニ（副店長）	来客数の動き	・前月22日から前倒しで始まったGo To Travelキャンペーン開始後に県内にてクラスターが発生したこと、県独自の緊急事態宣言に伴い、客数が大幅に落ち込んでいる。
	×	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	競争相手の様子	・8月1日より新型コロナウイルス第2波を受けての自粛要請が出た。7月末の週末は例年であれば200名ほど入る店舗が、常連1名という惨たんたる状況だったこともあり、当社も全店舗9月2日まで休業に入っている。周りの店舗もほとんどが休業しているが、辛うじて開けている店舗も観光客がぼつぼつといるだけの状況が続いている。都心部はゴーストタウン状態が続いているが、中北部のリゾート地周りは観光客で前年より入客が多く入っているホテルや居酒屋が散見されるようである。
	×	観光型ホテル（代表取締役）	来客数の動き	・沖縄での8月初旬における新型コロナウイルス感染者の増加と、知事による沖縄独自の緊急事態宣言により、当初予定されていた8月宿泊予約が半減している。9月もキャンセルが続き、新規予約が少ない。10月も修学旅行のキャンセルや延期により、予約が大幅に減少している。

	×	旅行代理店（マナージャー）	それ以外	・5月までの自粛期間を耐えて、6～7月は沖縄県内独自の観光キャンペーンの効果がある程度あり、外での飲食も居酒屋程度までなら少人数でも行けるような気持ちになりつつあった矢先、Go To Travelキャンペーンなどによる来県者増、在日米軍基地の新型コロナウイルス感染者増、沖縄県の緊急事態宣言の発出で瞬く間に予約キャンセルの嵐で何もかもなくなり、振出しに戻る。
	×	観光名所（職員）	それ以外	・新型コロナウイルス感染症の影響がある。
企業 動向 関連  (沖縄)	◎	—	—	—
	○	—	—	—
	□	食料品製造業（総務）	取引先の様子	・新型コロナウイルス禍の影響を大きく受け売上が著しく減少している取引先と、巣籠り消費で逆に伸びている取引先があるが、全体ではやはり落ちこんでいる。減少している取引先は今の時点で、改善見込みが立てられないとの厳しい状況である。
	□	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合い件数は結構あるが、具体的な商談には結び付かない。
	□	輸送業（経営企画室）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染者が沖縄でも増えているが、4～5月の緊急事態宣言時ほど、景気に影響を及ぼしていないものとみられる。
	▲	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響で、公共、民間工事向けの需要が厳しく、前年比で減少している。
	×	—	—	—
雇用 関連  (沖縄)	◎	—	—	—
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・観光関連業種の求人が徐々に復活し始めてきている。
	□	人材派遣会社（経営者）	求職者数の動き	・派遣依頼数は現在さほど変化していないが、求職者がなかなかみえてこない。新型コロナウイルスで打撃を受け、雇用を維持できず退職者が多いと聞く割に、求職活動が少ないようにみられる。失業手当や他の手当で休職中となっているケースも多いように考えられる。
	▲	学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・前年比で求人数、特に県外の求人数が減少している。
	▲	学校〔大学〕（就職支援担当）	求人数の動き	・Webによる就職面接が行われているが、実感として求職者が少ないとみられる。
	×	人材派遣会社（総務担当）	求人数の動き	・問合せや求人登録が減少している。